



#おうち時間 の充実 『双方向型生配信』 オンライン公開セミナー開催 新型コロナウイルス感染症と国際社会の現状を研究者が解説 「パンデミック化した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に 国際社会はどのように向き合っているか」

日時：2020年5月15日（金）20:00～21:30 オンライン会議システムZoomにて
参加費：無料 対象：どなたでも 開催言語：日本語

新型コロナウイルス感染症の影響で、全国にて外出自粛が続く中、自宅で過ごす時間の充実と継続的な学びに貢献することを目指し、立命館アジア太平洋研究センター（RCAPS）主催のセミナーを開催します。最新の時事を研究者から学ぶ「双方向型ライブ配信」オンラインセミナーで、一般公開にて開催します。

■セミナー内容■

「パンデミック化した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に国際社会はどのように向き合っているか」をテーマに、このパンデミックについて、医療研究、国際安全保障、国際法を専門とする3名のAPUの研究者が、各国の戦略や対応、コミュニケーションのあり方、国際的なルールなどについて解説します。質疑応答では、双方向型ライブ配信の特徴を生かし、参加者からの質問にお答えし、議論します。

■概要■

日時：2020年5月15日（金）20:00～21:30

場所：オンライン会議ツールZoomにて

参加費：無料

参加対象：高校生・学生・教職員・一般の方で興味のある方ならどなたでも

開催言語：日本語

参加人数：150名

参加方法：下記申し込みページ、または右記QRコードより事前申し込み

<https://bit.ly/3cTnkJs>



■登壇者■

佐藤洋一郎（アジア太平洋学部 教授）

ハワイ大学大学院 博士（Political Science）

現在の研究分野：政治学、国際関係論、安全保障

ゴトビ・ナデル（アジア太平洋学部 教授）

京都大学大学院 博士（現代経済学）

現在の研究分野：応用健康科学、臨床心理学、公衆衛生学

平野実晴（アジア太平洋学部 助教）

京都大学大学院 博士（総合学術）

現在の研究分野：国際法学、新領域法学

ご取材いただけます際は、下記連絡先までお知らせくださいませ。よろしくお願いたします。